

令和 8 年度第 1 回東京都感染症地域医療体制整備事業に係るブロック協議会 議事要旨
【区南部・区西南部ブロック】

- 1 日時 令和 8 年 6 月 26 日（金曜日） 19 時 00 分から 20 時 05 分まで
- 2 開催方法 オンライン開催
- 3 出席者 別添「東京都感染症地域医療体制ブロック協議会(区南部・区西南部ブロック) 委員 出席者一覧」のとおり
- 4 議題

(1) 新型インフルエンザ等感染症地域医療体制整備事業等について

【事務局説明】

感染症地域医療体制整備事業の概要、ブロック協議会の役割及び令和 8 年度事業スケジュールについて説明

新たに訪問看護ステーション協会を委員に加えるとともに、東京消防庁をオブザーバーとして参加いただくこととした。

また、第 2 回ブロック協議会は 10 月末から 11 月頃の開催を予定している。

※ 特段の意見なし

(2) 新型インフルエンザ等対策訓練について

【事務局説明】

令和 8 年度ブロック訓練の実施予定、全保健所の参加促進、訓練担当者名簿の共有及び今後の実施ローテーションについて説明

今年度は令和 8 年 12 月 2 日に自衛隊中央病院及び品川区保健所を中心として訓練を実施予定

【主な意見】

・訓練の実施に当たっては、各地域の実情や課題を踏まえてシナリオを作り込むことが重要であり、準備段階で十分な時間を確保しながら検討を進めることが効果的な訓練につながる。

・円滑な訓練実施及び有事における対応のためには、準備段階から関係機関が積極的にコミュニケーションを図りながら連携していくことが重要である。

・ブロック内の感染症指定医療機関以外の地域医療機関についても、訓練の見学等を通じてブロック訓練に参加できる機会があると有益ではないか。

【事務局回答】

訓練準備段階における関係機関間の調整や課題整理の重要性を踏まえ、引き続き関係機関と連携しながら訓練を実施していく。また、感染症指定医療機関以外の病院についても、見学参加などを含めた連携の在り方について検討していく。

(3) 新型インフルエンザ等対策研修及び普及啓発について

【事務局説明】

令和8年度研修はBCPをテーマとして動画配信形式で実施予定であり、昨年度のプロック協議会での意見を踏まえてテーマ選定を行った。また、普及啓発については、感染症への意識低下を踏まえ、感染対策の必要性を分かりやすく伝えるポスター・リーフレットを作成し、学童期を主な対象として9月中旬頃までの配布を予定している。

【主な意見】

ポスター等については紙媒体だけでなくデータでも活用しやすい形で提供してほしい。また、コロナ禍を経験していない職員も増えていることから、感染症対策に関する意識や経験を継承していくことが重要である。

【事務局回答】

研修において感染症対応の経験や知見の継承を図るとともに、普及啓発資材についてはデータでの提供を含め、活用しやすい形での周知について検討していく。

(4) 新型インフルエンザ等感染症有事に備えた取組状況等調査について

【事務局説明】

有事における初動期の連絡体制や役割分担、関係機関との情報共有状況等を把握するため、保健所を対象とした調査を実施する。調査結果は、訓練テーマや研修内容の具体化、関係機関との連携強化等に活用する予定である。

※ 特段の意見なし

(5) 医療措置協定等について

【事務局説明】

医療措置協定、検査措置協定及び宿泊施設確保措置協定の締結状況について報告した。協定締結数は東京都感染症予防計画における目標を達成しており、引き続き新規開設医療機関等への協定締結の働きかけを進める。また、東京都協定締結医療機関連携システムについて、令和9年度の本格稼働に向けて開発を進めており、平時・有事双方での情報共有や協定管理に活用する予定である。

【主な意見】

- ・協定締結医療機関連携システムについて、入力や情報更新を行う際、また有事の際に有用なツールになる。
- ・類似した用語があり内容を理解しづらい場面があったほか、入力完了の有無が分かりにくい点があった。また、病院向けの内容が中心であり、薬局向けの項目について判断に迷う場面があった。
- ・類似する用語や画面遷移に分かりにくい部分があった一方で、マイページ機能等により必要な情報を確認しやすく、有用なシステムである。
- ・保健所が閲覧可能な範囲や、医療機関に対する平時の情報発信機能においてどのような情報を掲載する予定なのか？特に、麻しんやエボラ出血熱等に関する医療機関向け通知を掲載

することによって、パンデミック発生前から医療機関がアクセスするようになるのではない
か

【事務局回答】

システム内で使用する用語や画面構成については、利用者にとって分かりやすいものとなるよう見直しを進めていく。また、平時から活用したくなる有益な情報を掲載できるよう、情報発信機能の内容について検討している。保健所については、情報共有を目的として閲覧可能となる予定である。

(6) PCR 検査精度管理支援事業について

【事務局説明】

検査措置協定を締結している医療機関を対象とした PCR 検査等の精度管理調査結果について報告した。令和 7 年度は診療所に加え病院も対象とし、文書調査、技能試験、技術支援、講習会及び報告書公表を実施した。調査結果では検査に関する日誌等の整備について改善傾向が見られる項目もある一方、検査関連記録の整備や技能試験の正答率等について引き続き支援が必要である。

※ 特段の意見なし

(7) 情報提供

【事務局説明】

急性呼吸器感染症（ARI）、麻しん、エボラ出血熱、ハンタウイルス肺症候群、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）等の発生状況及び対応状況について情報提供を行った。また、アジア感染症対策海外派遣研修の案内を行った。

なお、麻しんに対する緊急接種の実施状況及び接種体制の拡充方針について共有するとともに、都医師会等の関係機関と連携しながら接種体制の充実を図る。また、エボラ出血熱等に関する情報については、国と情報共有を行いながら、引き続き関係機関へ迅速に提供していく。

東京都感染症地域医療体制ブロック協議会(区南部・区西南部ブロック) 委員 出席者一覧

(敬称略)

	区・団体名	団体・病院名	役職名	氏名	備考
1	品川区	NTT東日本関東病院	感染症内科 部長	櫻井 隆之	
2	品川区	昭和医科大学病院	感染症内科・教授	時松 一成	
3	品川区	昭和医科大学病院附属東病院	教授	恩田 秀寿	
4	品川区	品川区保健所	保健予防課長	五十嵐 葉子	
5	目黒区	全国土木建築国民健康保険組合 総合病院 厚生中央病院	総合内科統括部長	小野 啓資	
6	目黒区	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	総合内科	津山 頌章	
7	目黒区	目黒区健康推進部	保健予防課長事務取扱	渡部 ゆう	
8	大田区	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院	副院長	松本 浩明	
9	大田区	東邦大学医療センター大森病院	感染管理部 副部長	宮崎 泰斗	
10	大田区	日本赤十字社東京都支部 大森赤十字病院	感染管理室・看護師長	佐條 美保子	
11	大田区	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京蒲田医療センター	内科 医員	富士原 仁	
12	大田区	独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院	看護部 感染管理認定看護師	熊澤 美紀子	
10	大田区	大田区保健所	感染症対策課長	石川 貴敏	
14	世田谷区	自衛隊中央病院	感染対策官	阿部 信次郎	
15	世田谷区	公立学校共済組合 関東中央病院	皮膚科部長・院内感染対策委員長	鑑 慎司	
16	世田谷区	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	小児内科系専門診療部 感染症科 診療部長	大宜見 力	
17	世田谷区	公益財団法人日産厚生会 玉川病院	感染症対策委員長・呼吸器内科副部長	竹内 孝夫	
18	世田谷区	世田谷保健所	感染症対策課長	福島 千尋	
19	渋谷区	日本赤十字社医療センター	感染症科部長兼感染管理室副室長	上田 晃弘	
20	渋谷区	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立広尾病院	感染症内科・医長	山内 悠子	
21	渋谷区	渋谷区	健康推進部地域保健課長	中島 丈晴	
22	都医師会	公益社団法人東京都医師会	理事	鳥居 明	
23	都歯科医師会	公益社団法人東京都歯科医師会	総務・医療管理・調査担当理事	須藤 豊哉	
24	都薬剤師会	公益社団法人東京都薬剤師会	常務理事	藤尾 絵美	
25	都訪問協会	一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会	地区支部委員	田中 千賀子	
26	東京都	東京都保健医療局	感染症対策部長	竹中 雪与	